



# 図書だより 4月号

↓スタート↓

自己判断でセロテープなどの修理は絶対にしないでね

草木植男

去年も書きましたが

まずは本の破損に関する事です！

袖利藍

もう桜なんて散ったけどギリ4月だから許してね

今回も下に読んでいってね

次は私が紹介します

本勲詠

ちょっと葉について注意してほしいことがあります

ページをめくったら思わずビリッと破れてしまったり

え？うそ？取れた

ページがごそごと取れてしまったり

学校司書の坂口味穂と申します

今はこんな髪型をしているんだけど

それは葉代わりについてです！

付箋

こういうことはどれだけでも扱っていてもよくあることです

図書だより上の坂口はこんな感じですよ

よろしくね

場合によっては文章が剥がれます

気をつけましょう

先生、ページが取れた

マジか！とくわ

わざとじゃないことは分かっているのですが、素直に持ってきてください

今回は図書館からのお願いなどを紹介していきます

最後まで読んでください

縁があります！

## 鹿児島県の著者



奄美大島出身

「第二開国」  
藤井太洋/KADOKAWA

昇雄太がリターンした奄美大島は、過疎と人口減少に悩まされていたが、IR誘致により、活気を取り戻しつつあった。この事業は町の、そして日本の救世主となると思っていたがー。現代の黒船がもたらすのは再生か、終焉か？



# GW ゴールデンウィーク 特別貸出

貸出冊数を  
5冊に増やします！

連休中も読書を  
楽しみたい人は  
ぜひ利用してくださいね☆



↓つづき↓



# 本屋大賞



## 「成瀬は天下を取りに行く」宮島未奈/新潮社

中2の夏、幼馴染の成瀬がまた変なことを言い出した。中継に映るために閉店を控える西武大津店に毎日通い、M-1に挑み、実験のため坊主頭にし、二百歳まで生きると宣言。我が道を突き進む成瀬から、誰もが目を離せない!



## 「水車小屋のネネ」津村記久子/毎日新聞出版



## 「存在のすべてを」塩田武士/朝日新聞出版

- 4位 「スピノザの診療室」 夏川草介/水鈴社
- 5位 「レーエンデ物語」 多崎礼/講談社
- 6位 「黄色い家」 川上未映子/中央公論新社

- 7位 「リカバリー・カバヒコ」 青山美智子/光文社
- 8位 「星を編む」 凧良ゆう/講談社
- 9位 「放課後ミステリクラブ」 知念実希人/ライツ社
- 10位 「君が手にするはずだった黄金について」 小川哲/新潮社